



明けましておめでとうございます

皆様のご健康とご多幸を
心よりお祈り申し上げます。



2012年(平成24年)元旦
京都外国語大学附属図書館
京都外国語短期大学附属図書館

の著作物、ゲーテ、シラー、ハイネの文学作品、その他に、ドイツで出版されたケンペルの『日本誌』、シーボルトの『日本』、オイレンブルクの『東アジア遠征記』のような様々な日本研究書など併せて63点の資料が展覧されました。

また、この会場には書家の山本郁さんによるゲーテやシラーの心を書で表現した作品も一緒に展示され、学生・教職員はもとより、多くの学外の方々が展覧資料に見入っていました。



日独交流150周年記念稀覯書展示会「日本人を魅了してきたドイツの書物」を開催しました

本学図書館は、昨年の10月18日（火）から10月24日（月）にかけて、稀覯書展示会「日本人を魅了してきたドイツの書物」を国際交流会館6階のユニバーシティギャラリーで開催しました。

この展示会は、フリードリッヒ・オイレンブルク伯爵が1860年に日本を訪れ、その翌年に日独修好通商条約が調印されてから150周年になることを記念して行われたものです。

グーテンベルク印刷の聖書やルターの「ドイツ語完訳聖書」、カント、ヘーゲル、マルクス

学園祭協賛行事「図書館フォーラム」を開催しました

本学図書館は、昨年の10月31日（月）の午後2時から、通算13回目となる学園祭協賛行事「図書館フォーラム」を開催しました。会場となった第2閲覧室には、学園祭開催中にも拘わらず多くの学生や市民の方々が集まりました。今回のテーマは〈私のアルバイトは「インターンシップ」—心を動かされた貴重書との出会い—〉で、学生4人による発表が行われました。図書館で仕事をするにより、図書館報への投稿、貴重書の展示の他に、オープン・キャンパス時の